

大森勝山遺跡シンポジウム

- 環状列石・縄文文化・^{おやま}岩木山 -

【日時】平成 28 年 11 月 5 日 (土) 午後 1 時から 5 時

【会場】ヒロコ4階 市民文化交流館ホール

(青森県弘前市駅前町9-20)

※入場無料、事前申し込み不要

【出演者】 関根 達人 弘前大学人文社会科学部教授
小岩 直人 弘前大学教育学部教授
鈴木 地平 文化庁文化財部記念物課世界文化遺産室文化財調査官
工藤 竹久 史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員長
岩井 浩介 弘前市教育委員会文化財課埋蔵文化財係長

【お問い合わせ先】青森県弘前市教育委員会文化財課

〒036-1393 青森県弘前市大字賀田一丁目1-1

☎0172-82-1642

大森勝山遺跡は、全国でも数少ない、今から約3,000年前の縄文時代晩期の環状列石を有する遺跡として、平成24年9月19日に国の史跡に指定されました。また、世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の17の構成資産の一つでもあります。

現在、弘前市では大森勝山遺跡において、平成26年度策定の「保存管理計画」、並びに平成27年度策定の「整備計画」に基づき、整備事業を計画中です。

この度、史跡大森勝山遺跡の価値と将来、そして世界文化遺産登録への取り組みについて、広く市民の皆さまに知っていただくため、大森勝山遺跡シンポジウムを開催いたします。皆さまお誘いあわせの上、是非ご参加ください。

【プログラム】

12:00	開場		
13:00	開演		
13:02	開会挨拶	葛西 憲之	弘前市長
13:05	報告	岩井 浩介	弘前市教育委員会文化財課埋蔵文化財係長
13:35	講演	関根 達人氏	弘前大学人文社会科学部教授
14:15	休憩		
14:30	講演	小岩 直人氏	弘前大学教育学部教授
15:10	講演	鈴木 地平氏	文化庁文化財部記念物課世界文化遺産室文化財調査官 「火山としての岩木山の歴史と大森勝山遺跡周辺の地形」 「成熟した世界遺産の在り方を目指して - 世界遺産にまつわる近頃のエトセトラ -」
15:50	休憩		
16:05	パネルディスカッション	工藤 竹久氏	「大森勝山遺跡の価値とは - 縄文・岩木山・世界遺産 -」 史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員長 コーディネーター
16:55	閉会挨拶	佐々木 健	弘前市教育委員会教育長
17:00	閉会		

【関根 達人氏】

埼玉県春日部市生まれ、東北大学大学院博士前期課程博士（文学）を修了。

現在、弘前大学人文社会科学部・大学院地域社会研究科教授並びに北日本考古学研究センター長を務める。

専門は日本考古学（縄文、中近世）で、近著に『モノから見たアイヌ文化史』（吉川弘文館2016年）がある。

【小岩 直人氏】

岩手県奥州市（旧水沢市）生まれ、東北大学大学院理学研究科博士後期課程博士（理学）を修了。

現在、弘前大学教育学部・大学院地域社会研究科教授を務める。

専門は自然地理学・地理学で、近著に「青森県十三湖における完新世の湖水成層化と地球環境」『第四紀研究 53』（2014年、共著）がある。

【鈴木 地平氏】

京都府京都市生まれ、京都大学大学院を経て、高崎経済大学大学院地域政策研究科博士（地域政策学）を修了。

現在、文化庁文化財部記念物課世界文化遺産室文化財調査官を務める。

専門は歴史地理学、地域政策学、文化政策・文化財保存で、近著に「成熟した世界遺産の在り方を目指して」『文化遺産の世界 25』（2016年）がある。

【工藤 竹久氏】

青森県むつ市生まれ、立正大学を卒業。

元八戸市職員として、市内の遺跡発掘調査を担当し、文化財課長や博物館長などを歴任。史跡是川石器時代遺跡や史跡根城跡の整備なども担当。

現在、青森県文化財保護審議会委員並びに史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員長を務める。

【お問い合わせ先】青森県弘前市教育委員会文化財課

〒036-1393 青森県弘前市大字賀田一丁目1-1

☎0172-82-1642

写真：冬至に岩木山山頂に沈む夕日